

かほく ワークシート

問題

(1) これまでに開催された五輪で、聖火台に点火した聖火リレーの最終走者を書きましょう。

- ① 1964年 前回東京大会 ()
- ② 98年 長野冬季大会 ()
- ③ 96年 アトランタ大会 ()
- ④ 2018年 平昌冬季大会 ()

(2) 20年東京五輪・パラリンピックの最終走者は誰だと思いますか。理由も書きましょう。

誰 ()
理由 ()

オリンピックを 知ろう!

～子どもニュース～

来年7月24日の東京オリンピック(五輪)開会式で注目されるのが、聖火台への点火です。だが、どんな方法で火をとますのでしょうか。
1964年の前回の東京五輪では、大学生だった坂井さんが聖火台に点火した。

井義則さんが聖火リレーの最終走者になりました。第2次世界大戦で広島に原子爆弾が投下された45年8月6日に、広島県で生まれた坂井さんは、世界に平和をアピールしました。
98年の長野冬季五輪では、フィギュアスケート女子の伊藤みどりさんが日本の伝統的な衣装で点火役になりました。

世界をひっくり返したのは92年のバルセロナ五輪(スペイン)です。アーチエリーの選手が火の付いた矢を夜空に放って点火しました。



1964年10月10日の東京五輪開会式で聖火台に点火する坂井さん(国立競技場)

聖火台点火 ● — ● だれが、どんな方法で?

シヨート ニュース

開催国出身の伝統的な名選手が点火役として登場することもあります。96年のアトランタ五輪(アメリカ)ではボクシングのムハマド・アリさん、2018年に韓国の平昌で開かれた冬季五輪では、フィギュアスケート女子の金妍児さんでした。

東京大会では、この大役が選ばれるのでしょうか。日本を代表するスターから選ぶなら、レスリング女子で五輪を3連覇した吉田沙保里さん、競泳の男子平泳ぎ100メートル200メートルで2大会連続優勝の北島康介さん、マラソン女子の金メダリスト高橋尚子さんが候補になりそうです。

飛び込み2選手
日本代表第1号
東京五輪を目指す選手のトップを切つて水泳飛び込みで日本代表が決まりました。第1号はシンクロ板飛び込みの寺内健、坂井丞の両選手です。2人は世界選手権で7位に入り、日本水泳連盟の選考ルールによって代表になりました。東京

大会を39歳で迎える寺内選手は、6度目の五輪出場になります。



男子シンクロ板飛び込みで東京五輪の日本代表に決まった寺内選手(左)、坂井選手(右) 韓国・光州

(小学校1～6年生/家庭学習)

いよいよ東京五輪・パラリンピック開幕まで、1年を切りました。これからいろいろな新聞記事が見られます。五輪・パラリンピックが終わった後、写真集が出版されることでしょう。新聞記事や写真をスクラップすることで、自分だけの写真集ができますよ。ぜひ取り組んでみてください。

出題者から

(日本新聞協会NIEアドバイザー・仙台市岡田小校長 阿部謙)

10月27日こども新聞ワークシート模範解答

1. これまでに聖火台に聖火をともした最終ランナーを書きましょう。

1964年 前回東京大会	坂井義則 さん
1998年 長野冬季大会	伊藤みどり さん
1996年 アトランタ大会	ムハマド・アリ さん
2018年 平昌冬季大会	キム・ヨナ さん

2. 2020年の東京オリンピック・パラリンピックの最終走者は誰だと思いますか。
理由も書きましょう。

誰 ()

理由 ()

※模範解答はなし